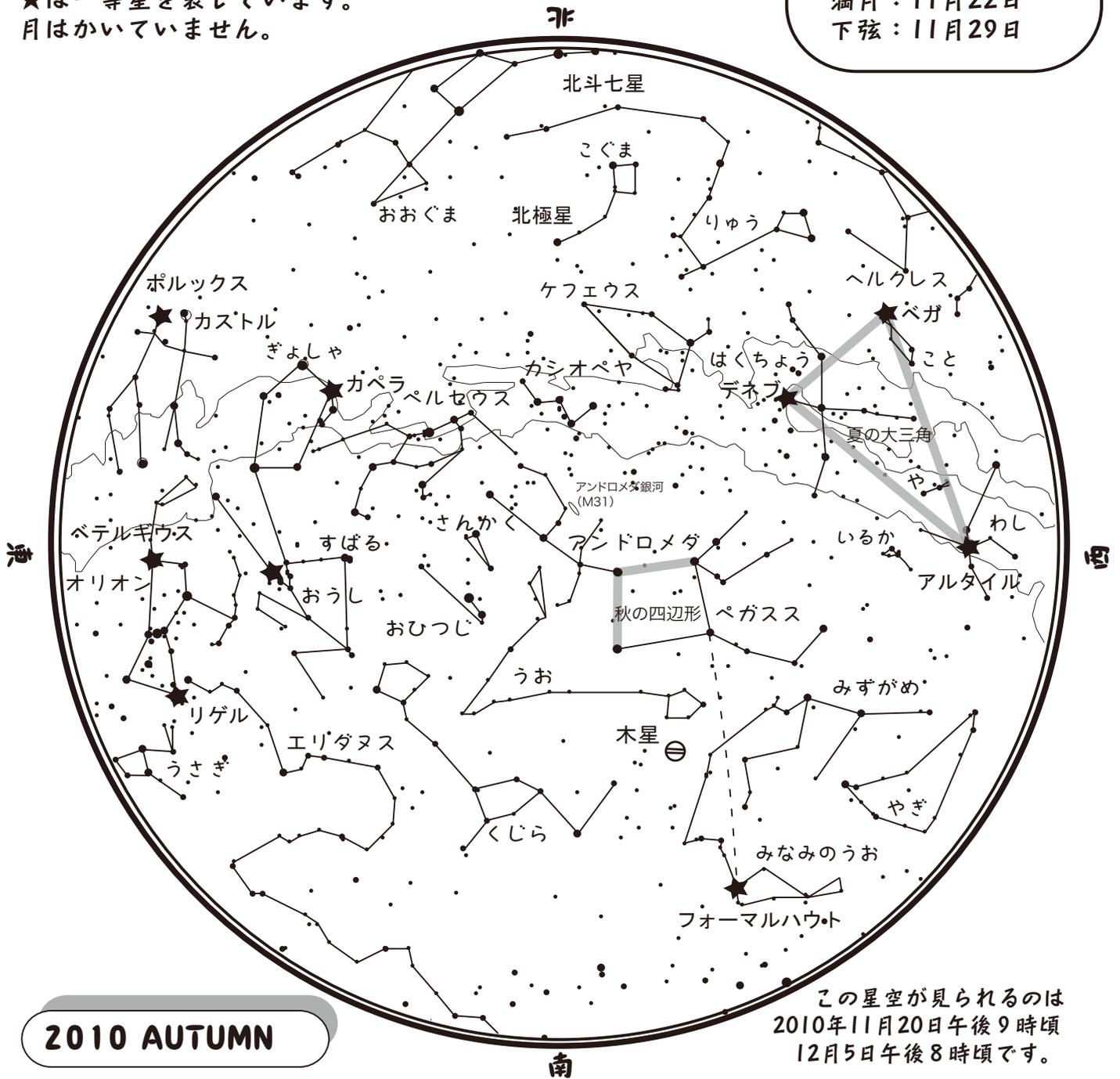


★ 姫路で見る11月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
 この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
 ★は一等星を表しています。
 月はかいていません。

上弦：11月14日
 満月：11月22日
 下弦：11月29日



2010 AUTUMN

この星空が見られるのは
 2010年11月20日午後9時頃
 12月5日午後8時頃です。

空高く飛ぶように見えるペガサスの胴体部分が、秋の星座探しの目印となる「秋の四辺形」です。四辺形の西の辺を南に向かってのばしたところには秋の星空でただ一つの一等星、フォーマルハウトが輝いています。ほかにも秋の四辺形を目印に、みずがめ座やうお座を探してみましょう。うお座の近くにひとときわ明るくみえる木星も、目印の一つになります。

ペガスス座のおへそに当たる星は、実はアンドロメダ姫の頭の星、北東に連なるのは姫の体に当たる星です。近くで姫を見守るのは、エチオピア王家のカシオペヤ王妃やケフェウス王です。そして姫を食べようとしたお化けくじらも姿を見せています。物語に登場する星座がそろい、星空は夏とは違ったにぎやかさを見せています。

東の空には冬の星座の星が輝いています。オリオン座のベテルギウスやリゲル、おうし座の背中にある「すばる」やぎよしゃ座のカペラなど、冬の星座も見えていますので少し夜ふかしをして星巡りをするのもいいでしょう。